

第 75 回愛鳥週間

令和 3 年度 野生生物保護功勞者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 総裁賞 (1 件)

| 都道府県 | 被表彰者 | 功績概要 |
|------|-------------------|--|
| 長野県 | なかむら ひろし 中村 浩志 | <p>1) 長年にわたるライチョウの生態研究を始め、カッコウの托卵生態、フクロウ類とワシタカ猛禽類の繁殖生態、アカシヨウビン、ブッポウソウの繁殖生態等、日本に生息する貴重な鳥類を対象に、多くの研究成果を残してきた。殊に、カッコウの托卵生態と宿主との相互進化に関する研究では、宿主に対応する托卵系統の存在を明らかにすると共に、カッコウ卵が宿主卵に似る卵擬態進化の仕組みを解明し、それらの研究成果を Nature 誌と Science 誌にも掲載し、世界的な評価を得ている。</p> <p>2) 国の特別天然記念物ライチョウの研究では、生息数の推定や標識による個体群研究に関する手法を確立し、高山でのこの鳥の生活や生態の実態を解明するとともに、それらの成果をライチョウの保全活動の推進、普及啓発、さらに保護管理に関する行政への指導・提言及び後継者の育成など、総合的なライチョウの研究と保護の推進に尽力した。</p> <p>3) ライチョウの研究者や行政関係者等が集まる「ライチョウ会議」を発足させ、これまで 19 回にわたり「ライチョウ会議大会」を開催し、日本のライチョウとその生息環境である貴重な日本の高山の自然及び自然との共存を基本にした日本文化のすばらしさを広く社会に発信し、自然保護思想の普及啓発に貢献した。平成 24 年には世界の研究者が集まる「第 12 回国際ライチョウシンポジウム」を長野県松本市で開催し、人を恐れない日本のライチョウとその生息環境である手つかずのお花畑は、自然との共存を基本にした日本文化の産物であることを世界に発信した。</p> <p>4) 平成 24 年にライチョウが近い将来絶滅の可能性が高い絶滅危惧 IB 類に指定されたのを受け、環境省と共に南アルプスでライチョウの家族を人の手で守るケージ保護に取り組み、5 年間で個体数を約 4 倍に増やす成果を残した。また、平成 30 年に絶滅した中央アルプスで 50 年ぶりに雌 1 羽が発見されたのを受け、令和元年に乗鞍岳からの有精卵を移植し雛をふ化させる技術を確立し、令和 2 年には乗鞍岳でケージ保護した 3 家族 (計 19 羽) を中央アルプスに空輸し、50 年ぶりに繁殖集団を復活させることに成功した。</p> <p>5) 平成 27 年に「一般財団法人 中村浩志国際鳥類研究所」を設立し、ライチョウやブッポウソウ等の希少種の保護対策手法を確立したほか、行政からの依頼に応じ市街地に罅をとるカラスやムクドリの追い払いを実施し、郊外に罅をとる習性に戻すことに成功した。</p> <p>6) 国指定天然記念物「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」や「身延町ブッポウソウ繁殖地」等において、行政と連携した生息状況の回復や生息地の復活に努めるほか、長年にわたり中部地方等のダム管理関係の委員として、主に猛禽類への影響低減策を発信し続ける等、様々な鳥類保全の場で活躍している。</p> |

2. 環境大臣賞 (6 件)

| 都道府県 | 被表彰者 | 功績概要 |
|------|------------------------|---|
| 埼玉県 | かわべ たかひさ 川辺 貴久 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 11 年より、北埼玉郡川里村（現鴻巣市）に診療拠点を構え、長年にわたる専門知識及び技術、経験を活かした鳥獣保護活動に尽力し、県民の野生鳥獣保護思想の普及啓発に貢献している。 2) 平成 19 年より埼玉県の「傷病野生鳥獣保護診療機関」として認定を受けて以来、傷病野生鳥獣の保護治療業務に尽力し、延べ 114 件の診療を行った。 3) 平成 25 年より、「侵略的外来生物対策事業」に参加し、7 年間で外来種 1052 頭の処分を引き受ける等、積極的に事業へ協力している。 |
| 新潟県 | たかの たけし 高野 毅 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 野生絶滅前のトキが餌場としていた佐渡市生樺地区において、生息環境整備を始め、平成 15 年より「生樺の自然を守る会」を設立し、地域住民とともに環境整備に尽力している。 2) トキの野生復帰を目的とした活動団体の意見交換の場を設け、この協議会により、餌場の整備や生き物調査、環境教育等の多くの取組みが実施される等、野生復帰の活動体制づくりに努めている。 3) 生樺でのトキ放鳥の決定に伴い、NPO 団体及び行政等、関係者に呼びかけ、放鳥場周辺の草刈りを実施する等、長年にわたる保全活動はトキの生息数回復や佐渡の自然保護に貢献している。 |
| 滋賀県 | うの けんじ 宇野 健治 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 4 年より、八日市市（現東近江市）に診療拠点を構え、小動物の診療に努め、臨床に尽力している。 2) 平成 5 年より、滋賀県「野生動物ドクター制度」の野生動物ドクターに指定され、野生鳥獣の救護に貢献した。 3) 現在は県「傷病野生鳥獣救護事業」として、野生鳥獣救護ドクターに指定され、傷病野生鳥獣の保護に貢献している。 |
| 宮城県 | フライング ギース プロジェクト | <ol style="list-style-type: none"> 1) 宮城県北部に位置する蕪栗沼及び周辺水田や化女沼等を中心に、独自のガン類生息状況調査を実施し、調査結果の解析や取りまとめに尽力している。 2) 将来的に技量の高い鳥類調査員を確保するため、地元の小中学生を含む、若年層を活動に参加させ、調査員の育成に努めている。 3) 長年にわたる調査・研究の結果は、環境行政のアドバイザーを務める専門家に共有し、地域の基礎的な記録として環境行政の取組みに生かされる等、保護事業に貢献している。 |

| | | |
|-----|--|---|
| 東京都 | おがさわらかいりん 小笠原海運 かぶしがいしや 株式会社 | 1) 東京都竹芝と小笠原を結ぶ定期船「おがさわら丸」を運行する海運業者として、小笠原の希少鳥獣に影響を与えているノネコ 900 頭以上の本土無償搬送に尽力した。 2) ノネコの搬送により、減少していたアカガシラカラスバトやカツオドリ等の個体数を増やす等、野生生物保護に大きく貢献している。 3) アカガシラカラスバトやオガサワラオオコウモリ、海鳥等の生息地保全に貢献するとともに、ノネコ殺処分ゼロの取組みに協力し、他の模範となっている。 |
| 岐阜県 | かぶしがいしや 株式会社 えのしま 江ノ島マリン コーポレーション せかいたんすいぎょえん 世界淡水魚園 すいぞくかん 水族館アクア・ トトぎふ | 1) 世界最大級の淡水魚水族館として、木曾三川の源流や世界の川に生息する水生生物の魚類・昆虫類・両生類・鳥類等を、生息地を再現して展示し、環境学習の場として、多くの人に親しまれている。 2) 水族館職員が木曾川中流域で絶滅したと思われたイタセンパラを再発見したことより、保護増殖事業に取り組み、安定的な飼育技術の向上や複数施設間での親魚を交換するネットワークを構築する等、飼育・繁殖の技術向上に貢献している。 3) アベサンショウウオやアユモドキ等、国内外の希少種に関する調査・研究・飼育・繁殖及び普及啓発に取り組み、様々な水生生物の保護増殖事業に貢献している。 |

3. 文部科学大臣賞（2件）

| 都道府県 | 被表彰者 | 功績概要 |
|------|--|---|
| 新潟県 | みなみうおめましりつ 南魚沼市立 うえだしょうがっこう 上田小学校 | 1) 昭和 39 年より、第二上田小が愛鳥モデル校に指定され、令和 2 年の第一上田小との統合以降も地域の川や林等を利用した学習を通して、生物多様性を学んでいる。 2) 野鳥に関する展示や委員会活動を中心とした愛鳥検定、地元育成会と連携した親子探鳥会やウォークラリーを行う等、野鳥に親しむ様々な活動に取り組み、児童の愛鳥思想を高めている。 3) 総合的な学習の時間や地域コーディネーターを活用した活動で、地域と連携した水生生物やビオトープの観察会を行い、地域の自然や生き物とのふれあいを通して、自然を守り育む意識を高めている。 |
| 鹿児島県 | あまみしりつ 奄美市立 すみようしょうがっこう 住用小学校 | 1) 平成 18 年より、総合的な学習の時間において、リュウキュウアユの学習会や生息地の環境整備に取り組み、児童たちの自然保護意識を高めている。 2) 専門家指導の下、全校でリュウキュウアユの学習会・観察会を実施し、生態や保護活動について学ぶとともに、児童・保護者・地域等で連携して産卵場所の整備等に尽力している。 3) リュウキュウアユの学習会や環境整備で体験したことを、壁新聞や学習発表会で発表し、広く理解を深めるとともに、活動に生かして行動している。 |

4. 林野庁長官感謝状（3件）

| 都道府県 | 被表彰者 | 功績概要 |
|------|---|--|
| 広島県 | うえの よしお 上野 吉雄 | 1) ブッポウソウを保護・増殖するため、芸北町（現北広島町）教育委員会やNPO 団体等を組織化し、ブッポウソウの巣箱架け等の保全活動や長年にわたるモニタリング調査等に尽力している。 2) ゴマシジミを保護・増殖するため、地域団体が行う生息状況調査に参加するほか、長年にわたりモニタリング調査を実施し、保全活動に関わるデータの蓄積に貢献している。 3) ブッポウソウやゴマシジミの保全活動や調査による結果を、地域団体が主催する講演会及び観察会で公表し、自然保護の普及啓発に努めている。 |
| 奈良県 | な ら けんりつ 奈良県立 せいしやう 青翔 ちゆうがっこう 中学校・ こうとうがっこう 高等学校 | 1) 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定の理数科単科高校として、学校設定科目「探究科学」を設け、課題設定から調査、結論までを生徒自身が行い、様々な研究成果を残している。 2) 二上山での毎木調査や地元への聞き取り調査等の地道なデータ収集により、国内外来種アオモジの蔓延を発見し、ナラ枯れの研究に繋がる成果を残している。 3) 地域団体と連携した二上山山麓の里山に関わる生態系の調査研究や整備に取組み、ナラ枯れ被害に関する調査の積み重ねにより、里山環境保全という全国が抱える問題の解決に貢献している。 |
| 広島県 | がっこうほうじん 学校法人 ひろしまけんしんじょうがくえん 広島県新庄学園 ひろしまけんじょうちゆうがく 広島新庄中学・ こうとうがっこう 高等学校 | 1) 総合的な学習の時間等に、北広島町にある里山の生物多様性保全や環境学習に取組み、地域や行政、専門家等と連携して「持続可能な社会に貢献する人材」の育成を目指している。 2) 中高6カ年のカリキュラムの中で、中1は「大朝のテングシデ」、中2は「オオサンショウウオ」、中3は「八幡湿原」と、それぞれの学年による題材を学び、それに対する保全活動に尽力している。 3) 各学年の学習や研究の成果は、地元図書館において、ポスター展示の発表を行うほか、地域を対象とした成果発表で公表し、生物多様性の保全や自然保護の普及啓発に貢献している。 |

5. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟会長賞（3件）

| 都道府県 | 被表彰者 | 功績概要 |
|------|---|--|
| 大阪府 | こが い と ぎんじ ろ う 小海途 銀次郎 | 1) 長年にわたるクマタカの調査により、その生態や繁殖実態、保護の必要性等を多くの原稿に寄稿し、クマタカの生態を広く紹介するとともに、保全活動の普及啓発に貢献している。 2) 昭和 39 年より、野鳥の古巣採集とともに、野鳥全般の繁殖生態調査を始め、日本で繁殖する 182 種の巣と卵を紹介した「日本の野鳥・巣と卵図鑑」等、多くの人に親しまれる数々の図鑑を発行している。 3) 平成 11 年より、大阪府のクマタカ・オオタカ調査員（アドバイザー）として、開発地の調査に尽力し、猛禽類保全のためのデータ蓄積に貢献している。 |
| 群馬県 | おおた し り つ 太田市立 とりのごうしやうがっこう 鳥之郷小学校 | 1) 昭和 40 年より、群馬県から愛鳥モデル校の指定を受け、専門家指導の下、4 年生を主体とした探鳥会や巣箱作り・架け等を行っている。 2) 野鳥が棲みやすい環境づくりへの資金調達として、空き缶回収を毎年行い、生徒と保護者が協力して環境保全に取り組むとともに、地域住民にも空き缶回収のリサイクル活動が広がるきっかけとなっている。 3) 野鳥保護に関する取組みを学校通信等で紹介し、家庭や地域に回覧するほか、校内に野鳥の写真・絵の展示や鳥の鳴き声が聞こえる時計を設置し、児童等が野鳥に親しみやすい環境を整えている。 |
| 千葉県 | みずどりけんきやうかい 水鳥研究会 とうきやうわん 東京湾グループ | 1) 平成 3 年より、減少傾向にある水鳥の保護に役立てることを目的に設立され、主に東京湾岸の干潟や湿地の鳥類個体数調査に尽力している。 2) 平成 10 年より、千葉市に委託されたコアジサシの継続的な生態調査を行うほか、市に対して保護に関する助言、生息地の保護柵設置・巡回を行う等、行政と協働でコアジサシの保護活動に努めている。 3) 千葉市発行のコアジサシに関するリーフレット制作や市ホームページに利用する画像提供に協力し、コアジサシ保護の普及啓発に貢献している。 |

6. 環境省自然環境局長賞（6件）

| 都道府県 | 被表彰者 | 功績概要 |
|------|--|--|
| 静岡県 | かつまた りつ お 勝又 立雄 | 1) 昭和 54 年より、教員として静岡県野鳥愛護林校に指定される小学校へ勤め、巣箱架け遠足や観察活動を行ったほか、野鳥クラブを設ける等、野鳥観察を通して、自然保護思想の向上に貢献した。 2) 御殿場市等の自然好きな子どもを集め、「東富士キッズ隊」を結成し、野鳥観察や富士山のゴミ拾い等の保全活動を指導したほか、教員退職後も小学校の観察会講師を務める等、多く子どもたちに自然保護活動を広めている。 3) 平成 26 年より、県鳥獣保護員として、保護区の管理や違法飼養取締りの協力や傷病鳥の保護活動を行う等、様々な鳥類保護活動に尽力している。 |
| 鳥取県 | つばき としゆき 椿 壽幸 | 1) 平成 22 年のコウノトリ初飛来より関心を持ち、自宅付近の通信塔で営巣したコウノトリの経過観察を行ったほか、保護のための住民と行政の調整に尽力し、映像記録の提供や私費による巣塔設置等、コウノトリの保護・増殖に貢献している。 2) コウノトリの継続的な観察記録を「兵庫県立コウノトリの郷公園」や関係行政機関に提供する等、各機関の保護活動に協力するとともに、平成 30 年より、同公園の第 1 期コウノトリ野生復帰事業特別協力員に任命され、見守り活動を続けている。 3) 地元小学校のコウノトリに関する授業や地域の観察者に対する解説を行い、コウノトリの生息環境の大切さや観察マナー等の普及啓発に努めている。 |
| 富山県 | ひ み し り つ 氷見市立 じゅうにちようしょうがっこう 十二町小学校 | 1) 地域に生息するオニバスやイタセンパラの飼育・調査等の保全活動を行い、児童が自然と関わることにより、自然保護思想の向上や地域に対する愛着を深めている。 2) 天然記念物「十二町瀧オニバス発生地」が校区内にあることから、昭和 47 年より、学校池でオニバス栽培を行い、4 年生が中心となって、管理や観察に取り組んでいる。 3) 地域の専門家指導の下、5 年生を中心に校区内万尾川に生息するイタセンパラの飼育や生息地調査を行うとともに、外来種の脅威や駆除及び食用についてを学ぶ等、生態系の保全活動に尽力している。 |
| 福岡県 | い い づ か し り つ 飯塚市立 や き や ま し ょ う が っ こ う 八木山小学校 | 1) 昭和 58 年より、全校児童を対象とした野鳥観察会を年 2 回実施し、その後観察した野鳥の種類や特徴等を学ぶことを通して、児童の野生生物保護思想を高めている。 2) 八木山の里山環境を守るため、6 年生が清掃活動や巣箱の設置に取り組むほか、猟友会から寄付された実のなる木を植樹する等、野鳥が棲みやすい環境づくりに努めている。 3) 学校通信やホームページで野鳥観察の活動を公表するほか、飯塚市主催の「エコスタいいづか」において、野鳥の環境づくり活動を発表する等、地域に野生生物保護についての普及啓発を行っている。 |

| | | |
|-----|---|---|
| 新潟県 | <small>にほんやちよう かい</small> 日本野鳥の会 <small>にいがたけん</small> 新潟県 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本野鳥の会下部組織として、探鳥会を主催し、野鳥に親しむ場を提供しているほか、写真展や研究発表会、出版物を通じて成果を公表し、愛鳥思想の普及啓発に貢献している。 2) 会員が新潟県レッドリストの作成や「野生生物保護実績発表大会」、「愛鳥週間用ポスター」等の審査員を務めるほか、県での「ライチョウ会議大会」開催に助力する等、様々な行事において活躍している。 3) 「全国鳥類繁殖分布調査」や県の野鳥相調査等に尽力し、生物多様性の理解と生息環境の保全につながるデータ蓄積に貢献している。 |
| 沖縄県 | <small>みやこやちよう かい</small> 宮古野鳥の会 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 昭和 48 年より、サシバの保護を目的とした、飛来数調査や密猟防止の呼びかけを行う等、沖縄県と宮古島市と連携してサシバの保全に尽力している。 2) 博物館での野鳥展開催や地域の小中学校において、野鳥を中心とした宮古島の自然を講演するほか、様々な観察会を毎年行う等、市民が自然と親しめる場を提供し、自然保護思想の向上に努めている。 3) 会員による調査・研究により「宮古諸島の鳥類目録」が作成され、与那覇湾のラムサール条約認定に貢献したほか、長年にわたる傷病鳥の保護活動等、会員の活躍が野生生物保護及び環境保全に貢献している。 |

7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状及び会長感謝状

公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（10件）

◆個人（6件）

| 都道府県 | 被表彰者 |
|------|---------------------|
| 北海道 | おいかわ 及川 シマ子 |
| 北海道 | すずき なみお 鈴木 浪夫 |
| 群馬県 | つかごし とおる 塚越 徹 |
| 石川県 | なかむら まさお 中村 正男 |
| 京都府 | いしかわ じゅんいち 石川 順一 |
| 和歌山県 | やまさき まなぶ 山崎 学 |

◆学校（4件）

| 都道府県 | 被表彰者 |
|------|--------------------------------------|
| 福島県 | ふくしましりつふくしまだいにしょうがっこう 福島市立福島第二小学校 |
| 栃木県 | いちかいちようりつこかいしょうがっこう 市貝町立小貝小学校 |
| 神奈川県 | かながわけんりつよこすかこうとうがっこう 神奈川県立横須賀高等学校 |
| 熊本県 | あしきたちようりつおおのしょうがっこう 芦北町立大野小学校 |

公益財団法人日本鳥類保護連盟会長感謝状（3件）

◆団体（3件）

| 都道府県 | 被表彰者 |
|------|---------------------------|
| 福島県 | ひろせがわ きけ 広瀬川に鮭をもどす会 |
| 栃木県 | もおかじどうかん 真岡児童館 やさしクラブ |
| 滋賀県 | くまつこがん 草津湖岸コハクチョウを愛する会 |

8. 環境省自然環境局長感謝状
鳥獣保護管理員等（54件）

| 都道府県 | 被表彰者 | 都道府県 | 被表彰者 | 都道府県 | 被表彰者 |
|------|-----------------------|------|---------------------|------|----------------------|
| 北海道 | てらやま こうじ 寺山 広司 | 山梨県 | たきぐち まきひろ 滝口 雅博 | 香川県 | もり ひし 森 久 |
| 北海道 | みずかみ かつお 水上 勝夫 | 長野県 | うめど ひろし 梅戸 洋 | 愛媛県 | しらいし ひきはる 白石 壽春 |
| 北海道 | やし のぼる 矢治 昇 | 長野県 | しろき えいじ 白木 榮二 | 高知県 | たかおか ひろみ 高岡 博實 |
| 北海道 | やまだ みのる 山田 貫 | 静岡県 | やまもと まもる 山本 守 | 高知県 | らい あきお 来 暁士 |
| 青森県 | さいとう よしひこ 斎藤 義彦 | 滋賀県 | なかがわ たつや 中川 辰也 | 福岡県 | うらべ まきひこ 占部 雅彦 |
| 青森県 | たにがわ じゅうじろう 谷川 重次郎 | 滋賀県 | ますなか よしひこ 舛中 好彦 | 佐賀県 | いしまる えいすけ 石丸 英輔 |
| 青森県 | やまなか やすひこ 山中 泰彦 | 滋賀県 | やまおか よしかつ 山岡 芳勝 | 佐賀県 | か も こうじ 加茂 孝治 |
| 埼玉県 | しきち ふじお 敷地 富士雄 | 兵庫県 | くさか すみお 日下 住夫 | 熊本県 | い たかよし 井 高義 |
| 埼玉県 | ふじなみ ふじお 藤波 不二雄 | 兵庫県 | こばやし たけし 小林 健志 | 熊本県 | おがた くみお 緒方 久視夫 |
| 千葉県 | おぬき はるきち 小貫 春吉 | 兵庫県 | もりおか かつみ 森岡 克己 | 熊本県 | まつなが よしのり 松永 良徳 |
| 神奈川県 | こまつ くにかつ 小松 邦勝 | 島根県 | かさから まさみち 笠柄 正道 | 宮崎県 | しおみ きんじろう 塩見 金次郎 |
| 神奈川県 | しらいし としお 白石 利郎 | 島根県 | もり たかゆき 森 孝之 | 鹿児島県 | えぐち しげし 江口 誠志 |
| 神奈川県 | ゆかわ なおひさ 湯川 直久 | 島根県 | もりた すずむ 森田 進 | 鹿児島県 | しもおかわ さいぞう 下大川 歳三 |
| 新潟県 | たなか たく 田中 卓 | 岡山県 | あきおか きょうすけ 秋岡 強介 | 鹿児島県 | たけだ ひでし 武田 英司 |
| 新潟県 | のぎま よしのり 野崎 義憲 | 山口県 | いちかわ まさし 市川 正士 | 鹿児島県 | ふくだ としみつ 福田 利光 |
| 新潟県 | ほさか こうえい 保坂 甲榮 | 山口県 | ますだ たけお 益田 剛夫 | 鹿児島県 | やまだ かずひろ 山田 和広 |
| 富山県 | なかしま りえつ 中島 理悦 | 山口県 | やまだ てるまさ 山田 輝正 | 沖縄県 | おおさわ よしろう 大澤 芳郎 |
| 山梨県 | さとう わかお 佐藤 若夫 | 香川県 | そね おさむ 曾根 修 | 沖縄県 | こばやし まきひろ 小林 雅裕 |